



# 霧島市立 永水小学校

児童数 28人  
学級数 5クラス



## 《テーマ》

人権尊重の精神を基にして、豊かな心を持ち、認め合い、助け合い、共に伸びようとする実践力のある児童の育成

### 研究に当たって（テーマ設定の理由）

本校は全校児童28人の極小規模校である。自分の考えを伝えることが苦手で、他者との関わり方に課題のある児童が多い。そこで、テーマに挙げている人権尊重の精神を基に、認め合い、助け合える豊かな心を育て、全ての児童が安心して学校生活を送ることができるように本テーマを設定した。

### 研究スケジュール

4月18日（月）・・・年間テーマの設定  
8月2日（火）・・・職員研修（講師）  
12月5日（月）～・・・校内人権週間  
12月9日（金）・・・人権教室（講師）  
1月13日（金）・・・家庭教育学級（講師）  
3月13日（月）・・・研究のまとめ

### 特色ある取組（他校にもおすすめの取組）

- 縦割り清掃活動をはじめ、始業前のなわとび活動や運動会での全校リレー等、上級生と下級生が関わり合う活動を多く取り入れ、お互いが認め合ったり、助け合ったりできる場面を設定している。
- 校内人権週間では、人権集会を実施し、作成した人権標語を児童全員が発表したり、人権作文コンテストに出品した児童が作文を発表したりした。異学年グループでSSTを取り入れたすごろくをすることで、好みや得意なことに違いがあることを知り、他を尊重する気持ちを育てている。
- 1月の授業参観は、全学級で道徳の授業を行った。人権に関する授業参観の後、家庭教育学級では講演会を行い、親子ともに人権意識が高まるようにしている。



【SSTすごろく】



【家庭教育学級】

### 子どもの人権プロジェクト推進校の取組の成果と課題（子どもの変容、よかったこと、今後やってみたいこと）

- 例年とは違った形で人権に関する学習や研修を行うことができた。児童や保護者は参加型の学習を楽しみながらも、他者との違いについて考える機会になった。
- リフレーミングで見方を変えることを、学校生活の中で取り入れることで、友達に対する気持ちを整理することができる児童が増えた。
- 人権についての学習をどのようにつなぎ、学びを深めていくのか、学びの継続性をもたせるために、職員研修計画の見直しが必要である。